

伊東市富戸の伊豆シャボテン動物公園で2月中旬から3月上旬にかけて、ワオキツネザルの赤ちゃんが続々と生まれました。すくすくと成長し、母親や仲間の体にぴったりとしがみつくと愛くるしい姿を見ている。

ボートで渡る池の中の島では、出産と子育て経験が豊富な群れのボス「レイシー」（12歳）が双子を生んだ。娘の「パオシー」（5歳）も1匹を生むなど雌雄の計4匹が誕生した。今後さらに子どもが増える可能性があるという。ボートでのツアーに参加すれば、間近の様子を観察することができる。

ワオキツネザルはマダガスカル島南部に分布し、雌が優位の群れをつくる。長い尾に連なる黒と白の帯が輪状に見える「輪尾（ワオ）」の名がつく。（伊東支局・白柳一樹）

伊東・伊豆シャボテン動物公園

背中にしがみつくとワオキツネザルの赤ちゃん＝伊東市の伊豆シャボテン動物公園



ワオキツネザルすくすく

記事を読んで、問いに答えましょう。

- ①記事の動物公園では2月中旬から3月上旬にかけて、ワオキツネザルの赤ちゃんは合計で何匹誕生しましたか。 (4) 匹
- ②ワオキツネザルの「ワオ」はどんなところから名付けられましたか。
長い尾に連なる黒と白の帯が輪状に見えるところから。
- ③ワオキツネザルの愛くるしい様子を記事から読み取って書きましょう。
(例) 母親や仲間の背中にぴったりとしがみつく様子。
- ④記事の に入る見出しを考え、12字以内で書きましょう（句読点や記号を含みます）。
(例) ・お母さん おんぶ！（8字）
・しがみつく姿 愛くるしい（11字）
・母親の背中で仲良く（9字） など

年 組 名 前